令和4年5月6日

バレーボール専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

【1】施設、用具等の感染対策について

- ① 換気の悪い密閉空間とならないよう、試合開始前や試合間、セット間にはできるだけ窓を開放して外気を取り入れる等の換気をする。
- ② 更衣室やトイレなど複数の参加者が使用する場所は定期的に消毒を行い除菌する。
- ③ 審判台、スコアボード、ポールカバーなどの関連用具などは定期的に消毒を行い除菌する。
- ④ 共用の競技用具を使用する場合は、使用前には手洗い手指消毒を行い、使用中には顔をできるだけ触らない。

【2】会場内での留意点について

- ① 参加者はマスクを持参し、コート外では必ずマスクを着用する。
- ② こまめに手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。その際、手洗い後に手を拭くための「マイタオル」を持参する（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）。また、タオルの共用はしない。
- ③ 会場内では、周囲の人となるべく距離を空け、密集・接触を避ける。
- ④ 会場内での飲食は、十分距離を保ち会話を控える（できれば屋外での飲食が望ましい）。飲食後は必ず、その付近の消毒をする。また、ドリンク等の回し飲みはしない。
- ⑤ 会場内では、大きな声で会話をしない。応援については、声を出さずに拍手のみとする。

【3】競技上の留意点について

- ① アリーナの入退場時には手指の消毒をする。
- ② 選手はプロトコールまでマスクを着用して練習を行う。プロトコール後、マスクを外す際には各自が袋などに入れて管理する（自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用してもよい）。※熱中症対策の観点からマスクを外して練習する場合は、声を出しての練習は禁止とする。
- ③ ベンチスタッフおよびベンチメンバーは必ずマスクを着用する（キャプテンや監督が記録席でサインする際にもマスクを着用する）。
- ④ 試合におけるあいさつについては握手をしない。
- ⑤ できるだけ身体接触は避ける（競技中のハイタッチは避け、腕のタッチにとどめるなど）。
- ⑥ 近距離での会話や発声などの密接場面を極力つくらない。また、ネット際などで、相手に

向いた状態での発声は控える。

- ⑦ タイムアウトや給水タイム、セット間では手指の消毒をする。
- ⑧ 応援については、声を出さずに拍手のみとする。
- ⑨ ワイピング用タオルはセット間ごとに交換するよう各チームで準備する。
- ⑩ 試合終了後は、使用したベンチを各チームで消毒する。
- ⑪ チーム内で出たゴミ（鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉）は必ず持ち帰る。
- ⑫ 試合球は複数個用意し、定期的に消毒し交換をしていく。
- ⑬ スコアラー、線審などの補助役員についてはビニール製の手袋を着用すること。また、フラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- ⑭ 審判員の笛（私物）について、試合中はマスクの下に笛をくわえて吹笛をすること。また、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避ける。主・副審が電子ブザーを使用する場合もある。各校準備をすること。
- ⑮ チームベンチは身体的距離が確保できるよう、前後交互に1席分を空けて座る。
- ⑯ 監督がチームのプレイを指揮する場合、立って指示してもよい。選手と距離を取り指示すること。